



2026年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社 ツ ガ ミ
代表者名 代表取締役社長 渡部 昇弘
(コード番号 6101 東京証券取引所プライム市場)
問合せ先 執行役員 管理部財務担当 大平 肇
(TEL 03-3808-1711)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ

当社は、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた今後の取り組み方針について策定いたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

以 上

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について



2026年5月13日

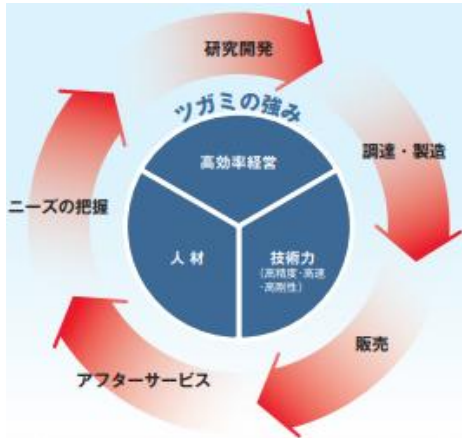
<https://www.tsugami.co.jp>

(証券コード:6101)

目指す姿と取り組み

目指す姿

ツガミは常に高生産性を目指しつつ最先端技術を活用し「高精度」「高速」「高剛性」の精密工作機械を提供いたします



ツガミグループの経営方針は、創業以来培ってきた精密技術を基礎に市場ニーズを絶えず先取りし、新しい価値の創造を通じ、社会に貢献することです。

お客様のご要望に合致した「高精度」「高速」「高剛性」の製品を提供することにより、長期的に成長を持続させていきます。

当社グループでは、培ってきた技術力と価値観を通じて持続的な成長と社会の発展を両立させ、サステナブルな社会の実現を目指しています。

取り組み

「大きな市場」、「伸びる産業」にリソースを投入します

工作機械市場の変遷に合わせ中国およびインドに現地生産体制を確立。内製化を進め資本効率を高めるとともに、伸びる産業の需要を取り込み成長を持続させます。

ハイエンド製品でもプレゼンスを高めていきます

日本では、日米欧で需要が高まる工程集約型の新製品の開発製造に取り組んでいます。ハイエンド製品でもプレゼンスを高めるとともに、技術のさらなる向上を図ります。

Output

2026/3期実績

売上収益

1,291億円

営業利益

361億円

ROE

23.4%

中長期経営方針

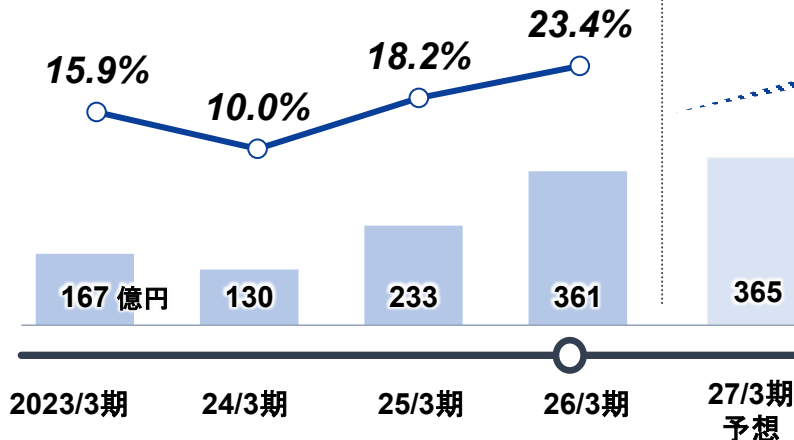
中長期経営方針

1. グローバル成長の加速と製品ポートフォリオの最適化
2. 生産性とサプライチェーンの効率化
3. 社会課題解決に貢献する製品開発

実績

- ・ 巨大市場である中国で高い成長を維持してきました
- ・ 今後高い成長が期待できるインドで新工場を建設し生産能力を拡大、現地需要に即応できる体制を整備しました
- ・ 研究開発や設備投資を継続しつつ、地政学リスクや、工作機械市場の高いボラティリティに備え、健全な財務基盤を維持しています

■ 営業利益 ○ ROE



中長期経営方針

- ・ 中国、東南アジア、インド等における生産・販売・アフターサービスの更なる強化により、現地の顧客満足度を更に高めていきます
- ・ 日本では、長年にわたり培ってきた精密技術を活かした先端工作機械への投資を継続し、日米欧へのハイエンド製品でプレゼンスを高めることにより、高い技術力を維持、継承していきます
- ・ インドでの競争力を高め、ビジネス地域の分散化を図るとともに、成長分野を狙った新製品の投入により、ビジネスリスクの抑制を図ります



成長戦略

成長戦略

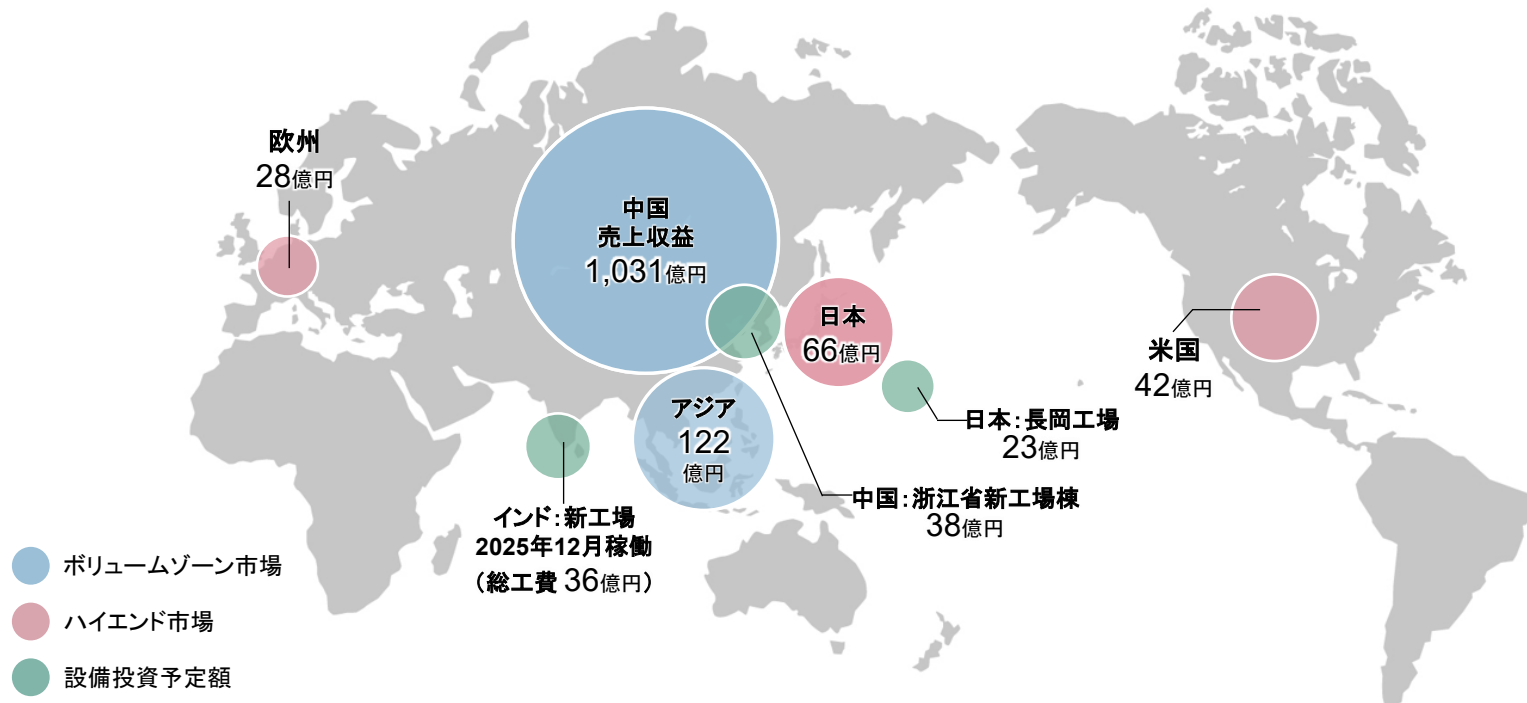
中国・インドで資産効率を高めて競争力を維持し、日本の長岡のマザー工場を技術中枢として、日米欧市場へのハイエンド製品投入にも注力します。

開発・製造

- 中国子会社の生産設備やインドの新工場を中心に設備投資を実施
- 日本ではハイエンド製品を中心に開発投資を実行

販売

- 将来の成長に向けて、欧州および米国を中心にハイエンドに注力（日本・欧州・米国・韓国）
- エリア戦略を展開し、ニッチトップを目指す

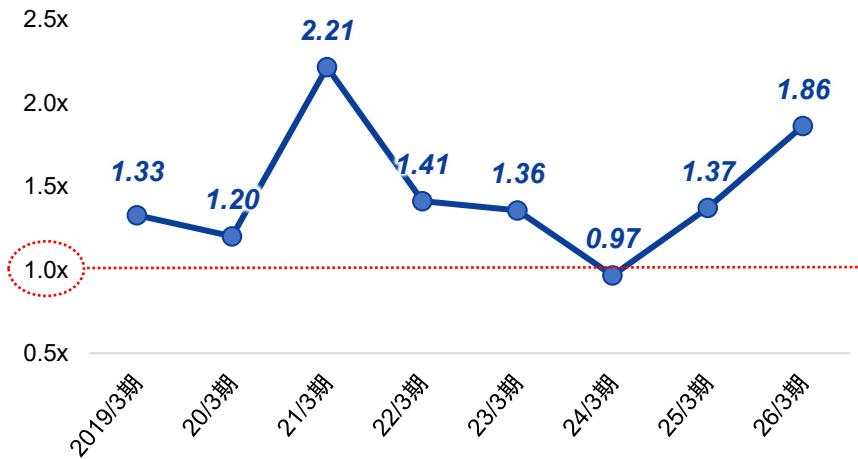


市場評価や資本収益性に関する現状分析

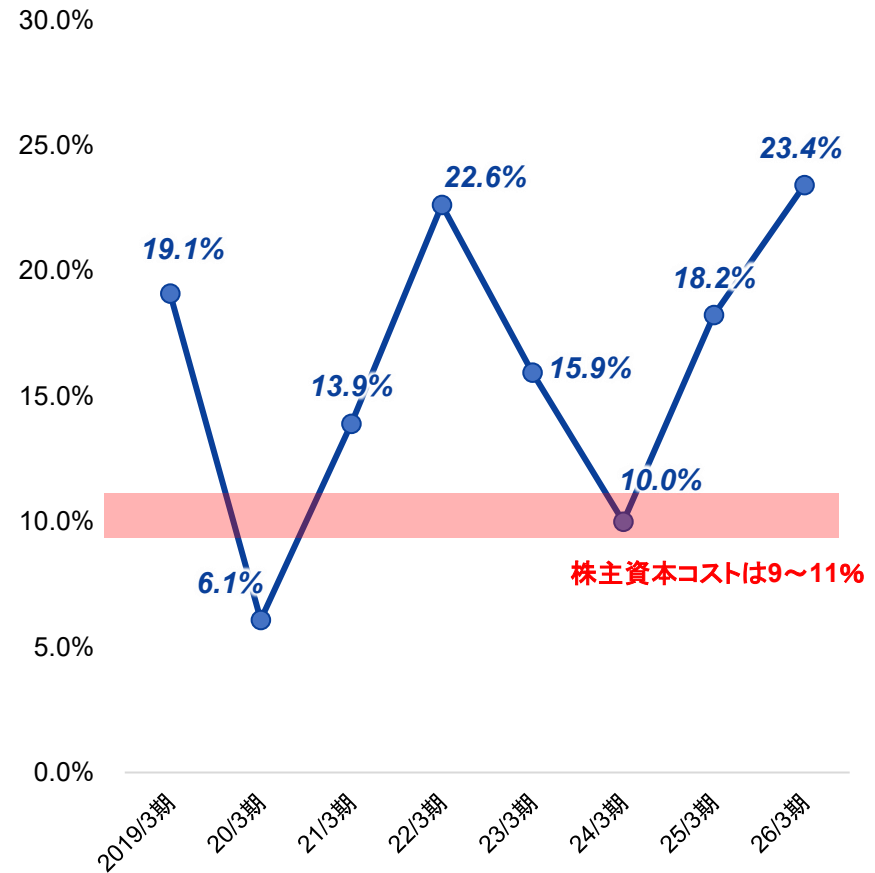
PBR・株価・ROE

近年は株主資本コストを上回るROEを確保し、PBRは1倍を上回る水準を維持しています。引続き、株主資本コストを意識した経営に取り組み、ROEの安定的な維持に努めてまいります。

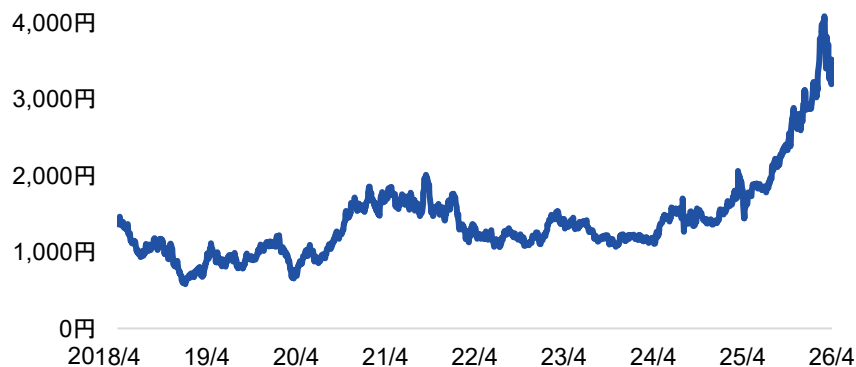
PBR



ROE



株価



ROE向上に向けた施策

ROE向上に向けた施策

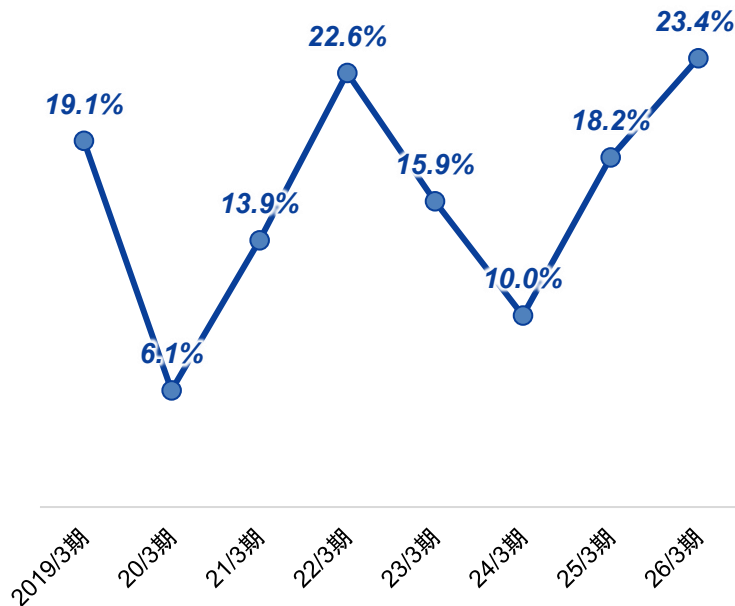
市況変動に耐えうる堅固な財務基盤を維持しつつ、「高効率経営」を強みに、資本コストを上回るROEを安定的に維持していきます。



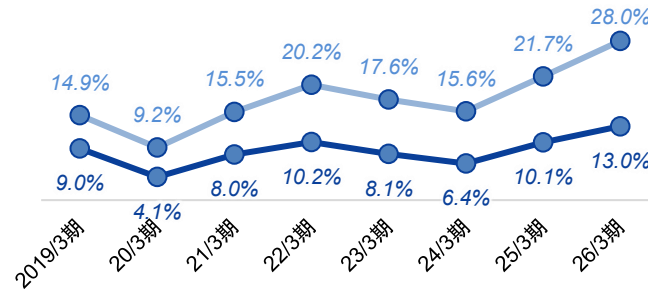
中長期目標

株主資本コストを上回る
ROEを安定的に維持
(株主資本コスト9~11%)

ROE



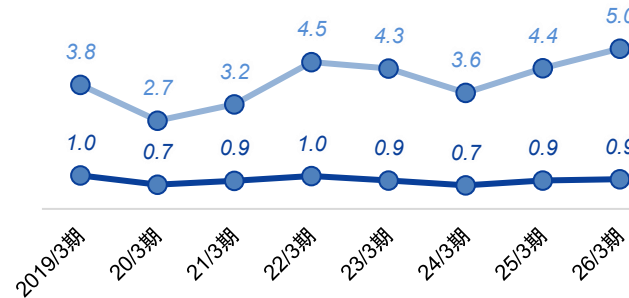
利益率



中国やインドの成長市場へリソースを集中、生産・販売・アフターサービスを強化し、利益率を向上

上段:営業利益率
下段:親会社株主に帰属する当期利益率

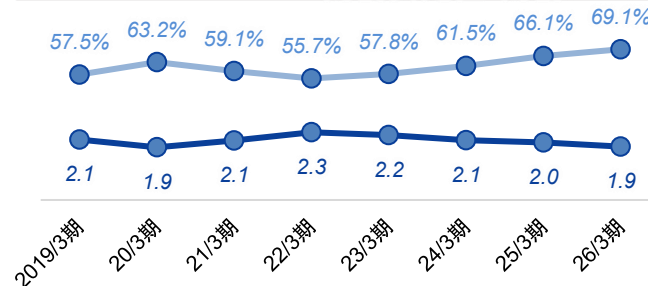
資産効率



非事業用資産を持たない徹底したアセットコントロールにより、高い固定資産回転率を維持

上段:固定資産回転率
下段:総資産回転率

財務安定性・財務レバレッジ



工作機械業界の高い業績ボラティリティに備えて堅固な財務安定性を維持

上段:自己資本¹比率
下段:財務レバレッジ

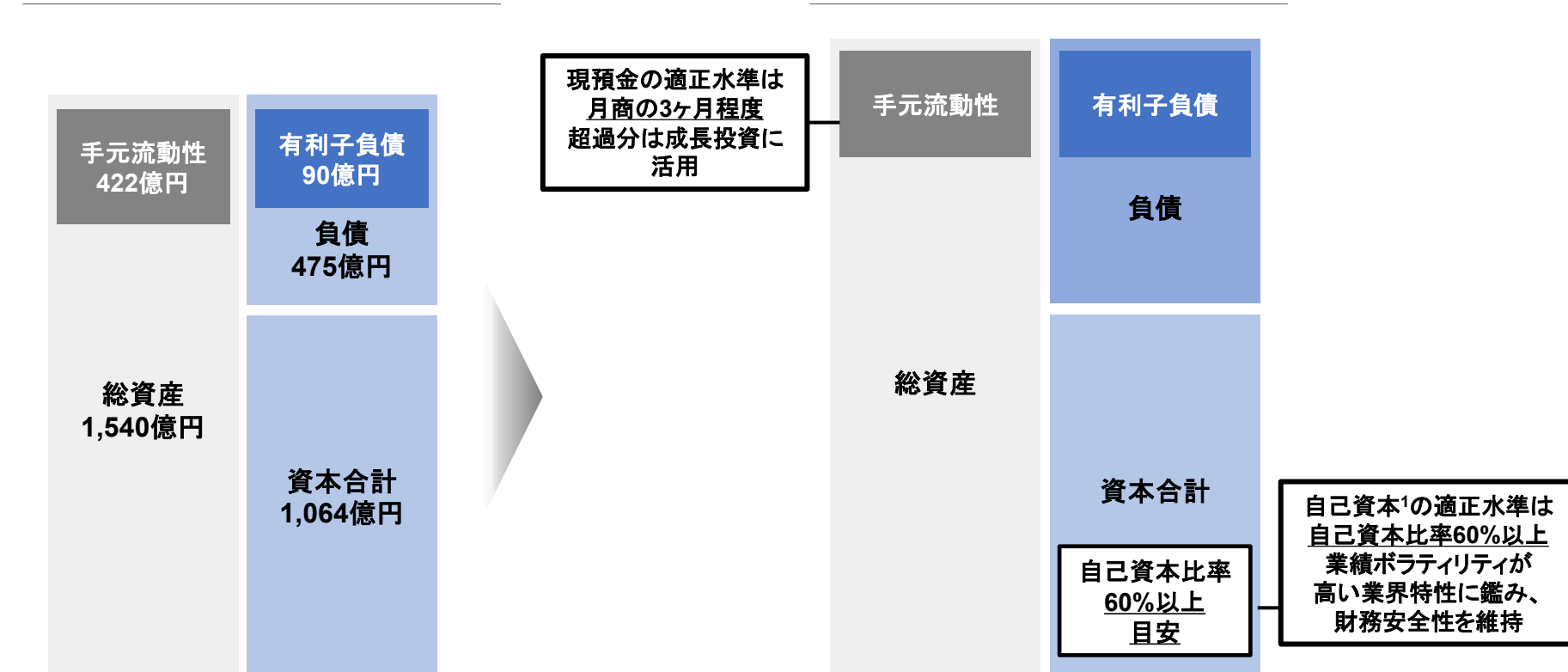
資本構成

目指す資本構成

工作機械業界のボラティリティの高さを踏まえて、急激な業績変動を吸収できる堅固な財務安定性を維持することが、株主価値向上につながると認識しております。

2026/3期末時点

目指すBSのイメージ

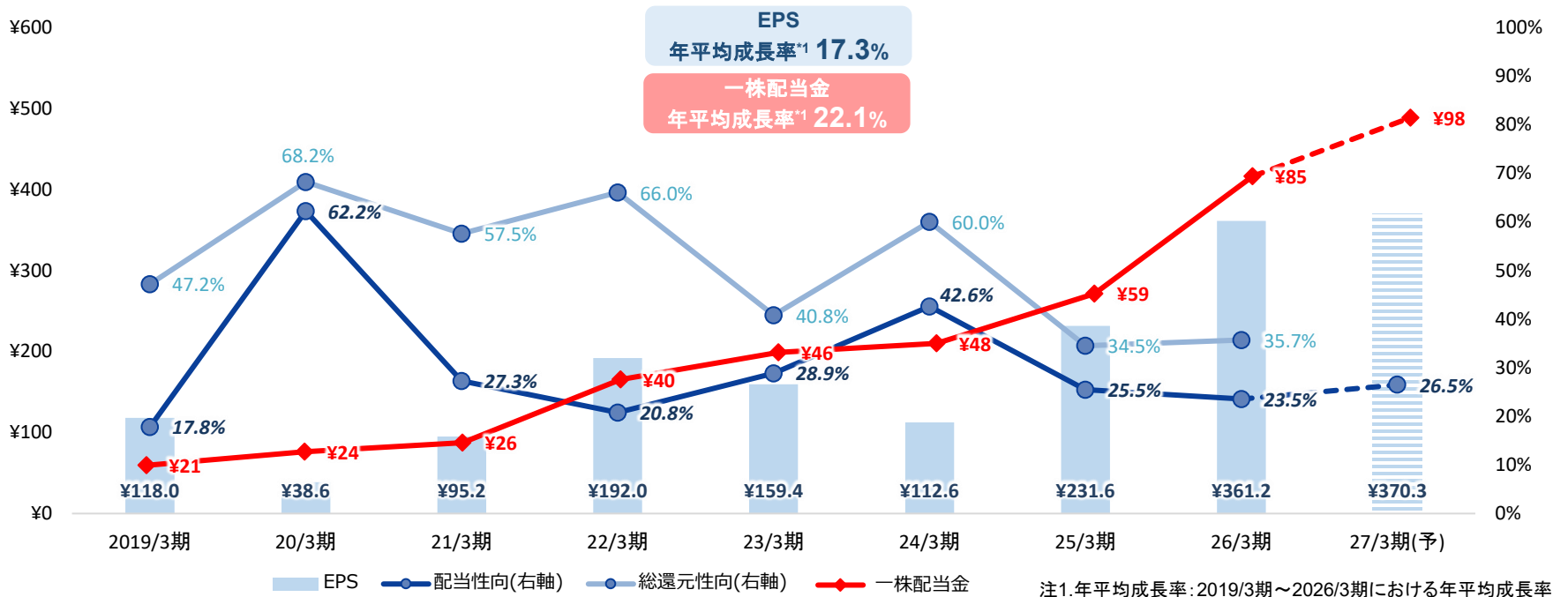


株主還元方針

株主還元方針

これまで一株配当金の着実な増加および自己株式取得・消却によるEPS改善を継続してきました。今後も利益変動を織り込みながら、一株配当金の安定的な増額と株価状況も考慮しつつ継続的な自己株式取得によるEPSの改善に努めてまいります。

一株配当金・EPS・配当性向・総還元性向



株主還元方針

一株配当金の安定的な増額
 株価状況も考慮しつつ継続的な自己株式取得によるEPSの改善

株主・投資家との対話

株主・投資家との対話方針

当社は、株主・投資家との建設的な対話を促進すべく、IR・SR活動の基盤を整備し、原則として、担当役員が対応しています。

株主・投資家の皆様からのフィードバックを踏まえて、英文開示を含む情報開示の充実に取り組み、対話で得られた意見を取締役に報告した上で各施策に反映していきます。

2026/3期実績

	決算説明会	1on1ミーティング	株主向け長岡工場見学会
実施回数	年2回	随時実施	年1回 (定時株主総会后)
主な対応者	代表取締役社長 最高顧問	代表取締役 最高顧問	代表取締役 最高顧問 技術部門
主な参加者	国内機関投資家 アナリスト等	国内機関投資家 海外機関投資家 アナリスト等	株主
対話の主な テーマ	直近開示期の業績、成長・事業戦略、株主還元方針など		

当資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。